



弓削の森



マスコットキャラクター
ゆげっ子の木

令和6年10月2日(水)

文責 木村 公一

【校訓】 健康 協力 創造

【学校教育目標】 「心豊かに社会を生き抜く力をもつこどもの育成」
～みんなの命を大切に みんなの幸せを大切に みんなの学び合いを大切に～

10月の全校集会から

さんようも
たたえたみちだ
すぎなみき
そらまでつづく
図①

10月1日(火)に全校集会が行われました。私は、今回、以下の話をしました。

昨日であいさつ運動の取組が終わりましたが、今朝も素敵な挨拶の声が響き渡っていました。みなさんの挨拶の声を聞くと、先生方も地域の方々も元気が出ます。ぜひこれからも、挨拶が響き合う弓削小学校になるようにしていきましょう。さて、この文章を見てください(図①)。何の一部ですか。そうです。校歌の4番の最初の部分ですね。

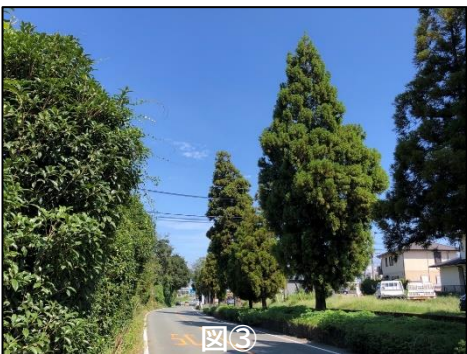


欠所時々見阿蘇

図②

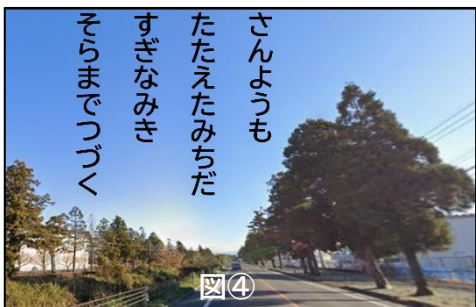
大道平々砥不如
だいどうへいへいとしかす
ゆうじょうひがしにされはずべてせいぶ
熊城東去総青蕪
ろうさんみちをはさんで たじゆなし
老杉夾路無他樹
かへる(こ)りてはむぎき あそをみる

みなさんに聞きたいのですが、この「山陽(さんよう)」とは何でしょうか。実は、「頼山陽(らいさんよう)」さんという江戸時代に活躍した学者さんのことなんです。その山陽さんが九州に来た時に、熊本の道を通りました。その時に、次のような詩を読みました(図②)。簡単に言うと、「大きな平たい道があり、熊本城から東に向かっていと青々とした畑が広がっている。道の右と左には杉の木が並んでいる。その杉の間から、時々阿蘇の景色が見える」ということを歌っています。なんて



図③

素晴らしい場所なんだという思いを山陽さんが詩にしたわけです。その詩の中にある杉の木がこれです(図③)。そうです。学校の近くを通る道にある杉の木ですね。この道を山陽さんが通って、この詩を読んだのです。この道を大津に向かって行くと、途中、道の両側に杉の木が並んでいるところがあります(図④)。このように、弓削小学校の近くの道も両側に杉の木がたくさんあって、とても広い道だったのです。この校歌の4番は、山陽さんが素晴らしいと褒め称えた道にある杉並木がまるで空まで続くかのように見えること、そして、その道を友だちと一緒に仲良く歩み、自分の夢の実現に向けて頑張っていこうという思いが込められています。ぜひ校歌の4番を歌う時は、山陽さんのことや、このような景色(図④)を思い浮かべながら歌ってくださいね。今日から10月になりました。秋本番です。いろいろな秋が考えられますが、みんなで秋を楽しみ、頑張っていきましょう。



図④

校歌を今以上に思いを込めて歌ってほしいと思い、上記の話をしました。

この話を時々思い出し、校歌に慣れ親しんでほしいと思います。早いもので、令和6年度も折り返しの時期になりました。子どもたちと一緒に、後期もたくさんのことを学んでいきたいと思います。

お願い

・今月から、帰宅時間が17時になります。子どもたちには、各担任が話をしています。「秋の日は鶴瓶落とし」ということわざの通り、少しずつ日暮れが早くなってきたなと感じます。事故防止のため、ご家庭でも、17時までに家に帰り着くように話をさせていただきますよう、よろしくお願いいたします。



学校だよりは
ホームページにも
掲載しています。